

至誠館大学

科目名	国語			コード	1208
英語表記	Japanese Literature and Language				
担当教員名	藤本 陽子			年度	平成28年度
基準年次	1年次	開講期	前期	単位数	2
授業形態		授業形式	講義	履修形態	選択
授業概要					
教材を読んだ後、その教材について話し合い、分析する。あるいは、調べたことを発表する。自分の意見や作品を記述する。					
到達目標					
○論理の展開や要旨をとらえ、また論理の展開の仕方を身につけ実践する					
○文学的な文章は表現を味わい、また表現の仕方、言葉の使い方、文体、修辭を身につける					
○日本の古典、漢文を通して、当時の生活、習慣、考え方を学び、日本の文化、中国の文化について考える					
○日本の文字の成り立ちについて知り、漢字の役割について考える					
○児童文学を批判的・分析的に読み、創作する					
授業計画					
第1回	クラスオリエンテーション、論説文(1)新聞				
第2回	論説文(2)(雑誌)と意見文の書き方				
第3回	現代の文学作品(1)随筆				
第4回	現代の文学作品(2)小説				
第5回	児童文学(物語-日本)				
第6回	児童文学(物語-海外)				
第7回	児童文学(物語-日本・海外)				
第8回	漢字 漢字の成り立ち・構成・意味				
第9回	文字 カタカナ・ひらがなの成り立ち				
第10回	漢文と中国由来の昔話				
第11回	古文と昔話				
第12回	児童文学創作(説明的文章)				
第13回	説明的文章創作作品発表・批評				
第14回	児童文学創作(物語)				
第15回	児童文学創作(物語)作品発表・批評				
評価方法と基準			評価項目と割合(%)		
授業態度を含む平常点および毎回の課題内容(50%)、およびレポート(50%)で評価する。			出席	授業態度	レポート
			0	50	50
			期末試験	0	
授業外学習			テキスト、教材		
			資料を配布する		
参考書			受講生へのメッセージ		
辞書(国語、漢和、古文)、辞典他			意見を言う、質問をするなど授業への積極的な参加が必要な授業になります。また自分の考えやオリジナリティが必要となる「書く」課題を毎回出します。		
キーワード					